食品安全委員会の9月の運営について

1. 食品安全委員会の開催

第300回 9月3日（木）

(1) 食品健康影響評価の要請

- 以下の案件についてリスク管理機関から説明

遺伝子組換え食品等 (3品目)	ARG-No. 2株を利用して生産されたL-アルギニン、 GLU-No. 2株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム、 PHE-No. 2株を利用して生産されたL-フェニルアラニン

(2) 各専門調査会における審議結果についての報告

- 各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

農薬専門調査会 (2品目)	キザロホップエチル、ペントキサゾン

(3) 食品健康影響評価

- 以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

農薬(1品目)	ピリプロキシフェン
遺伝子組換え食品等 (1品目)	pCHI株を利用して生産されたキチナーゼ

(4) 食品安全委員会の8月の運営について事務局から報告

(5) 「食品安全委員会専門調査会運営規程の一部改正について」事務局から説明後、案のとおり改正することとなった

第301回 9月10日（木）

(1) 各専門調査会における審議結果についての報告

- 各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

農薬専門調査会 (1品目)	トリネキサパックエチル

(2) 食品健康影響評価の要請

- 以下の案件についてリスク管理機関から説明

農薬(1品目)	アミスルブロム
動物用医薬品 (1品目)	性腺刺激ホルモン放出ホルモン・ジフテリアトキソイド結合物を有効成分とする豚の注射剤（インプロバック）

第302回 9月17日（木）

(1) 福島内閣府特命担当大臣（食品安全）挨拶

(2) 食品健康影響評価の要請

- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明

添加物（1品目）	ブチルアミン

(3) 各専門調査会における審議結果についての報告

- ・各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

農薬専門調査会 （1品目）	グルホシネート
遺伝子組換え食品 等専門調査会 （1品目）	除草剤グリホサート耐性ワタGHB614系統

(4) 添加物2-エチル-5-メチルピラジンについて

- ・評価依頼にあたり提出された資料に誤りがあったことが厚生労働省から報告されたため、再度、添加物専門調査会で審議することとなった

(5) 食品安全モニターからの報告（平成21年7月分）について、7月中に報告された36件について事務局から報告

(6) 「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等（平成21年8月分）について事務局から報告

(7) 厚生労働省から、ジアシルグリセロール（DAG）油の製造に責任を有している企業から、<1>グリシドール脂肪酸エステル含有量を一般食用油と同等のレベルに低減させるまで一時販売自粛・出荷停止し、<2>グリシドール脂肪酸エステルの体内動態の解明に必要な3項目の試験の最終報告を11月末までに提出する予定であると報告があった旨が報告された

2. 食品安全委員会ワーキンググループ会合の開催

食品による窒息事故に関するワーキンググループ

第5回 9月9日（水）

- ・「これまでの調査審議事項のまとめ（案）」に基づいて、論点整理を行い、次回会合から、評価の取りまとめに入ることとなった

3. 専門調査会の運営

(1) 企画専門調査会

第31回 9月29日(火)

- ・食品安全委員会が自ら食品健康影響評価を行うべき対象の点検・検討について審議を行い、4案件(①カフェインに関する食品健康影響評価、②アルミニウムに関する食品健康影響評価、③トランス脂肪酸に関する食品健康影響評価、④シガテラ毒に関する食品健康影響評価)について、引き続き情報を収集・整理し、次回再度検討することとなった

(2) リスクコミュニケーション専門調査会

第46回 9月16日(水)

- ・食育に係る取りまとめ案について議論し、内容について了承された
- ・透明性の確保と情報提供のあり方に係る取りまとめ案について議論し、内容について概ね了承された
- ・食品安全委員会におけるリスクコミュニケーションの実施状況について、事務局より報告し、議論された

(3) 添加物専門調査会

第76回 9月2日(水) ※第63回新開発食品専門調査会と合同で開催

- ・「高濃度にジアシルグリセロールを含む食品の安全性」に関して、8月25日付けで厚生労働省あて通知された「食品健康影響評価に係る補足資料の提出依頼について」について報告後、中間とりまとめ案について舌を含む口腔内の発がんプロモーション作用などの検討を行い、次回以降、引き続き審議することとなった

第77回 9月7日(月)

- ・「イソペンチルアミン」について調査審議し、評価書(案)を食品安全委員会に報告することを決定
- ・添加物に係る食品健康影響評価に関するガイドライン(案)について、一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定

第78回 9月28日(月)

- ・「ケイ酸マグネシウム」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定
- ・厚生労働省より「添加物2-エチル-5-メチルピラジン(国際汎用香料)に関する追加資料(評価依頼に際し提出した資料の誤りについて)」について説明後、調査審議を行い、評価書(案)の該当箇所について修正の上、食品安全委員会に報告することを決定

(4) 農薬専門調査会

第33回 総合評価第二部会 9月1日(火) ※非公開

- ・「プロピリスルフロン」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、幹事会に報告することを決定
- ・「ピコリナフェン」について調査審議し、継続審議となった

第26回 確認評価第二部会 9月8日(火) ※非公開

- ・「オキシフルオルフェン」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、幹事会に報告することを決定

第55回 幹事会 9月11日（金）

- ・「エトフェンプロックス」、「チジアズロン」及び「フェンチオン」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定
- ・「メトコナゾール」について調査審議し、発生毒性試験に関して、ワーキンググループを設置し、審議することとなった
- ・食品健康影響評価における主要な毒性影響の記載について検討された

第33回 総合評価第一部会 9月18日（金）

- ・「エトプロホス」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、幹事会に報告することを決定

第34回 総合評価第一部会 9月18日（金） ※非公開

- ・「アセフェート」について調査審議し、継続審議となった

第27回 確認評価第一部会 9月30日（水） ※非公開

- ・「ジチアノン」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、幹事会に報告することを決定
- ・「フルアジナム」について調査審議し、継続審議となった

（5）動物用医薬品専門調査会

第115回 9月29日（火）

- ・「フルベンダゾール」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定
- ・厚生労働省から報告を受けた動物用医薬品「エチプロストン」、「セフォペラゾン」、「テルデカマイシン」、「パロモマイシン」、「ブロチゾラム」、「ベンゾカイン」、「リファキシミン」の推定摂取量等について確認を行った

第116回 9月29日（火） ※非公開

- ・「スピノサド」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定

（6）化学物質・汚染物質専門調査会

第8回 鉛ワーキンググループ 9月8日（火）

- ・鉛の食品健康影響評価に関して、ヒトの健康に悪影響を及ぼさないと考えられる血中鉛濃度について、小グループによる関係文献の確認結果が審議された
- ・成人については、ベンチマークドース法により算出された $10 \mu\text{g}/\text{dL}$ 以下とされ、小児については、ハイリスクグループと考えられる胎児を含めて $4 \mu\text{g}/\text{dL}$ 以下となった
- ・ $4 \mu\text{g}/\text{dL}$ 以下の対象集団としては、妊婦及び妊娠の可能性のある女性を含めることとされ、さらに、母乳中の鉛に係る知見を確認した上で、授乳中の女性も含めることとなった
- ・また、血中鉛濃度から摂取量への変換について審議され、変換式等に関する知見の確認を要することから、継続審議となった

(7) 微生物・ウイルス専門調査会

第7回 9月7日(月)

- ・リスクプロファイル(カキを主とする二枚貝中のノロウイルス)の更新に関して、カキを主とする二枚貝中のノロウイルスのリスクプロファイルの更新について議論がなされ、引き続き、担当グループにおいて根拠文献の確認等を行った上で修正を行うとともに、全体のとりまとめ方について再度検討することとなった

(8) プリオン専門調査会

第60回 9月11日(金)

- ・食品安全委員会が行う食品健康影響評価(我が国に輸入される牛肉及び牛内臓に係る食品健康影響評価)に関して、①各国政府に送付した質問書に対する回答及び資料整備の進捗状況について事務局から説明、②自ら評価に韓国を加える件について事務局から説明、③メキシコ及びブラジルの評価書(案)のたたき台について審議、④ニカラグアについて、前回の審議に基づき修正した各評価書(案)のたたき台(修正案)について、事務局から説明
- ・豚由来たん白質等の飼料利用に係る食品健康影響評価(府食第975号平成19年10月4日)における魚へのTSE(伝達性海綿状脳症)の伝達性に関連して、最近公表された文献(「ゴウシュマダイへのBSEとスクレイピーの伝達性の検討」)について事務局から説明
- ・BSE対策に関する調査結果等について厚生労働省から報告
- ・BSE関係飼料規制の実効性確保の強化について農林水産省から説明

(9) かび毒・自然毒等専門調査会

第13回 9月17日(木)

- ・デオキシニバレノール及びニバレノールに関して、①評価書案たたき台(背景、評価対象物質の概要及び実験動物等における体内動態の部分)について事務局より説明の後、審議を行った、②次回の専門調査会で審議を行う毒性部分の評価書案のとりまとめ方針について議論を行った

(10) 遺伝子組換え食品等専門調査会

第73回 9月14日(月) ※非公開

- ・「除草剤グリホサート耐性トウモロコシNK603系統と除草剤グルホシネート耐性トウモロコシT25系統を掛け合わせた品種」及び「PHE-No. 2株を利用して生産されたL-フェニルアラニン」について調査審議し、評価書(案)食品安全委員会に報告することを決定
- ・「GLU-No. 2株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム」及び「チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMIR162系統(食品)」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定
- ・「高オレイン酸含有ダイズDP-305423-1系統(食品)」について調査審議し、指摘事項を確認の上、評価書(案)を了承することとなった

(11) 新開発食品専門調査会

第63回 9月2日(水) ※第76回添加物専門調査会と合同で開催

- ・(3)の第76回添加物専門調査会と同様

4. 意見交換会等の開催

(1) 意見交換会

「食品のリスクを考えるワークショップ（岡崎）－知ろう防ごう食中毒－」

9月8日（火）＜愛知県岡崎市＞

- ・グループワーク1、2では、参加者がグループに分かれ「食中毒を防ぐために生活の中で自分ができること」などを出し合い、「食中毒予防の6つのポイント」を考慮しながら整理
- ・意見交換会では、グループワークで行った内容の発表を受け、コメンテーターからは生食のリスクなどを中心に解説し、参加者との質疑応答を実施
- ・グループワーク3ではワークショップのふりかえりとして、今後、生活の中で食中毒を防ぐためにできることなどを話し合いを行った
- ・グループワークの際には、平成19年及び平成20年に岡崎市と愛知県で開催した「食品の安全性に関するリスクコミュニケーター育成講座」の受講者に、各グループの世話役として参加していただき、育成講座で学んでいただいたファシリテーションを実践しました。

(2) 食品の安全性に関するリスクコミュニケーター育成講座（ファシリテーター型）

9月1日（火）＜滋賀県大津市＞

- ・午前、内閣府食品安全委員会事務局が制作した、リスク分析と食品安全委員会の役割について説明したDVD上映と、ファシリテーションの基礎知識に関する講義の後、参加者がファシリテーションの基本的なスキルのいくつか（傾聴など）について、実習を行った
- ・午後は、参加者がグループに分かれ、アイスブレイクをした後、ワークショップのいくつかの手法を体験

(3) 講師等派遣

- ・地方公共団体企画や各種団体企画の講演会等へ委員が講師として参加した

月 日	講演会名	対応委員
9月23日	ジョン・クレブス卿特別講演&パネルディスカッション「食と科学－生命の対話－」	小泉委員長
9月26日	第148回日本獣医学会学術集会 市民公開講演	見上委員